



2月15日はお釈迦さまが

涅槃に入られた（亡くなられた）日です

2月15日。春の兆しがほのかに漂うこの日は、仏教をお開きになられたお釈迦様が、八十年にわたる尊い生涯を閉じ、究極の悟りの境地である「涅槃」に入られた日です。ですからこの日や周辺の日

に全国の多くの寺院では「涅槃会」が勤められます。いろいろな所にお釈迦さまが涅槃に入られたときの姿を記した涅槃図が伝承されています。クシナガラ（沙羅双樹）の間に横たわるお釈迦様を囲み、弟子たちもその死を嘆き悲しむ姿が描かれています。しかし、その中心にいらつしやるお釈迦

様の表情はどこまでも穏やかです。それは、生老病死というこの世のあらゆる苦しみから解き放たれ、静寂なる安らぎに到達されたお姿そのものです。お釈迦様は、嘆き悲しむ弟子たちに最期の言葉を遺されました。それが「自灯明・法灯明」という教えです。「私がいなくなっても、他者に惑わされてはならない。自分自身を灯火とし、私が説いた法（真理）を灯火として歩みなさい」というこの言葉は、師という形ある存在を失う不安の中にあつた弟子たちに、自立して生きる勇気を与えました。



Gemini (AI) に描いてもらった涅槃図

今月のことば

自灯明法灯明

他人に頼らず、教えにであつた自分自身と正しい教えを道しるべにして生きなさい
お釈迦様（最後のお説教）

さらに、お釈迦様は「諸行は無常なり、不放逸に努めなさい」と言い残されました。この世のすべては移ろいゆくものであり、とどまることはない。だからこそ、今というこの瞬間を疎かにせず、怠ることなく修行に励みなさい。自らの肉体が滅びゆくその瞬間に、身をもつて「無常」を説き、残された者の背中を押されたのです。涅槃会は、単にお釈迦様の死を悼むための日ではありません。それは、お釈迦様が遺してくださった智慧のバトンを、私たちが受け取る日でもあります。私たちは日々、外側の変化に一喜一憂し、自分を見失いがちです。しかし、2500年以上前に灯されたその

火は、今も私たちの足元を照らし続けています。沙羅双樹の花が白く色を変え、静かに散っていったあの日。お釈迦様が伝えたかったのは、死への恐怖ではなく、命をどう全うするかという情熱でした。2月15日、静かに手を合わせながら、自分自身の内なる灯火を見つめ直し、今を精一杯生きた決意を新たにしてみてはいかがでしょう。

涅槃会兼井波別院巡回法座

日時 2月23日（祝）午後1時30分より午後4時まで
会場 常入寺本堂
布教使 三牧 準師
参加費 無料（ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます）

また、井波別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

同居されているかたがおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください

彼岸会 兼 城端別院巡回法座

日時 3月22日(日) 午後1時30分より4時まで(予定)

会場 常入寺本堂

布教使 正門 武士師

参加費 無 料(ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます。)

また、城端別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

項目	収入	支出	
維持金	271,000		
報恩講収入	140,100		
御正忌収入	81,775		
祠堂経会収入	218,900		
正月収入	374,000		
祠堂	30,000		
本尊借礼	60,000		
その他の収入	20,972		
繰越金	8,651		
本山等支払い		368,000	
正月準備		83,344	
井波巡回法座		24,469	
城端別院巡回座		15,000	
夏清掃		15,373	
彼岸会		20,000	
祠堂経会準備		140,895	
報恩講準備		250,489	
御正忌支出		16,996	
寺報作成		22,360	
事務費		44,754	
住職費		49,790	
建更		84,000	3月で解約
本山共済		50,000	新規契約
その他の支出		17,488	
計	¥1,205,398	¥1,202,958	¥2,440

お釈迦さまが涅槃に入られた日、涅槃会。お悟りを開かれた日、成道会。お生まれになった日、降誕会を合わせて「三仏忌」といいます。お釈迦さまの生涯の三つの大きな節目を記念して行われる最も重要な法要です。ここで用いられる「忌」という言葉は、一般的な「忌み嫌う」という意味ではなく、「慎んで身を正す」という意味です。

「忌」とは、日常を離れ、心身を清らかに保ちながら、尊い存在に対して敬意を捧げる状態を指します。つまり、お釈迦様の遺徳を偲ぶとともに、自分自身の生き方や心の在り方を静かに見つめ直し、律するための大切な時間なのです。

三仏忌は、単なる記念行事ではありません。お釈迦様の歩みを道標として、私たちが「慎みの心」を持ち、日々正しく生きていくことを改めて誓うための、精神的な節目といえるでしょう。法要を務める意味も同じでしょう。

先般1月11日常入寺総会並びに新年互礼会を開催し、昨年度の維持会計の収支報告書を提示し、承認されました。左記の通り報告します。常入寺会計にはそのほか、月参り法要などのお布施、住職への給与などの一般会計があります。

¥2,440

発行 真宗大谷派 常入寺
発行責任 青井 和成
電話 930-0161 富山市東老田787
住職携帯 (076) 436-0816
090-3764-3983
LINEはこちらから
LINEはこちから
お参りの変更
法事の相談
その他
お問い合わせ



その誘い大丈夫?

例えば、こんな場面で ご注意を!!

職場や商売上の付き合いで

異業種間交流会などで

街角で
...アンケートや募金、手相占いなどを装って近づいてきます。細かい質問をしなくても適切な答えが返ってこないときは要注意! 名前や電話番号などは絶対教えない!!

...上司や取引先のお得意様など、断りにくい関係を利用しての勧誘もあります。ハッキリ断るか、せめて距離をおきましょう!

インターネットのSNS上で
...見知らぬ人からの友達申請や「いいね」をたどったことをきっかけに、徐々に親しくなり、誘われる事例があります。勧誘の実態が見えづらいので注意が必要です。

一般のサークル内で
...ごく一般的なサークルに、信者等が個人で参加して勧誘する場合もあります。

友人や知り合いから
...相手は善意で誘ってきます。親しい関係でも、その誘いに違和感を感じたら、ハッキリ断りましょう。宗教に関係のないところから誘われる事例もあるので注意しましょう。

団体の正体を隠して
運営される「ダミーサークル」で
...サークル名と活動内容の実態がかけ離れてきたら要注意!

チラシや広告での勧誘
仏教を語る文化講座や生涯学習講座、映画上映会といったチラシや広告の内容に「親鸞聖人」や「浄土真宗」、「蓮如上人」などの表記があっても、宗派(真宗大谷派 東本願寺)とは関係のないものもありますので、注意が必要です。

Caution!

その誘いの先には... 人間関係の破壊、社会との隔絶、経済的破綻などが待っているかもしれません!! 少しでも違和感を感じたら、ハッキリ断る!!